

# センター開設祝う

津山中央病院

する4月中旬以降に開始する見通し。

式には両病院の関係者ら約150人が出席し、津山中央病院を運営する一般財団法人津山慈風会の浮田芳典理事長、岡山大の森田潔学長らがテープカットして開設を祝った。浮田理事長は「県内のみならず海外からの患者受け入れも進め、医療を中心とした県北の活性化に役立った」と話した。

(竹久祐樹)

津山中央病院（津山 治療の一種で、水素の

市川崎）が院内に整備 原子核を加速し、病巣 同センターは鉄筋コ

した中四国地方初とな の大きさや深さに合わ ンクリート地上3階、

「がん陽子線治療セ せて自由に照射できる 地下1階延べ約390

ンター」の開設記念式 のが特長。正常な細胞 0平方メートルで、総工費約

典が20日、現地で行わ への影響が抑えられ、 60億円。共同で運用す

れた。放射線を当てて 手術のような臓器摘出 る岡山大病院（岡山市

病巣だけを集中的に破 がないため、日常生活 北区鹿田町）と共に、

壊できる施設で、国内 を続けながら治療する 1月から治療受け付け

11カ所目となる最先端 こともできる。治療費 を始めており、現在16

のがん治療拠点として は照射回数にかかわら 人が予約している。治

期待される。 ず約300万円。小児 療は厚生労働省が認可

がんについては4月か



テープカットし開設を祝う関係者